

2023年6月 日

会員各位

新象作家協会事務所責任者 岩崎 秀太

拡大事務所会議資料と補足説明

お変わりなくいらっしゃいますでしょうか。

第64回新象展本展を無事終えることができました。ご協力に感謝申し上げます。

2023年5月29日(月)本展初日14時より、都美術館にて拡大事務所会議を行いました。お忙しい中、ご参加くださった会員の皆様に感謝申し上げます。5月29日資料は多忙ゆえのメモ的なものでございました。お詫びいたします。再度整理いたしました。順にお読みください。

●在籍人数が減りました

昨年の2022第63回展終了から、本年の2023第64回展までの1年間に会員14名、準会員4名の退会届を受け取りました。本年第64回展の搬入日5月26日には会員62名、準会員13名となりました。

これまで逝去者、退会者の報告はその都度いたしておりました。しかし、過去何年か分をまとめてみていただかないと、当会の窮状をご実感いただけないのではと考え、資料1を作成いたしました。この5年で会員は34名減、準会員5名減でございます。

●壁面がきびしいです

本年も年明けから何度も複数出品のお願いをいたしました。良い言い方とは思いませんが、人数が減ると壁面があきます。大作を出品されていた何人もの会員の籍がなくなると厳しいのです。ご理解いただけますでしょうか。

現在、新象展本展は総壁面積400Mです。都美術館2本、8室です。8室のうち1室を一般出品者に振り分けるとして、7室分350Mは会員と準会員が担当することになります。350M÷70名=5Mになります。本年お一人5M以上をお願いした理由です。

在籍人数が減ることにお一人が担当すべき壁面の長さは増えていきます。資料2をごらんください。

●人手がきびしいです

私どもは2017年に「より良い新象を考える会（有志）」からの推薦を受けて事務所員になりました。経験の少なさ、若さを心配される先輩方もいらっしゃいました。「より良い新象を考える会」からは、関東会員で全面的に支援する旨の表をい

ただきました。資料3をご覧ください。その時（2017年）の分担が2018年に向けての欄です。

しかしながら、それぞれのご事情で退会が続き、その分は昨年から事務所員3名で担っています。2023年の欄です。

展覧会運営には多くの人手が必要です。関東会員に実務をお願いしてまいりましたが、関東も逝去、退会により厳しくなっています。資料4です。

本年も「最低でも1日、都美術館での係仕事をお引き受け願えませんか」と依頼いたしました。ご多忙、ご事情により係はうまらない状態でした。そこについては二巡目をさらに依頼。それでもうまらないと私どもが入りました。

頼んでも断られることが3名、4名と続くと、落胆して頼むことを諦めてしまいます。現在の会員の年齢構成の棒グラフ、資料5をご覧ください。事務所員3名は全員65歳未満です。やはり年下から年上に依頼することの難しさを感じてまいりました。

●金銭がきびしいです

会計関係です。資料6と資料7をご覧ください。

協会賞1つ、奨励賞1つを出しませんでした。請求書で実際の金額がわかったことで、資料6の金額を本展後に訂正しました。

私どもは2018年より事務所員です。その当時も会員の大幅減により、年会費値上げの検討が続いておりました。（2018年は臨時会費を徴収することとなりました）

2019年総会にて、2020年からは年会費 会員60,000円、準会員36,000円が決定いたしました。2019年の在籍者は会員96名、準会員18名でしたが、算定基準は会員80名、準会員15名でした。現在、会員62名、準会員13名です。

本年年会費新規払込会員は54名、準会員は11名です。2023年経費総支出後の2023年末の新象全財産を出してみました。資料6をご覧ください。

今後の見通しについては、会員40名で算定せざるを得ません。明年までにまた14名の会員が減少した場合、62-14で48名になります。2019年在籍の半数です。資料7のA,B,Cいずれにしても年会費は値上げです。

当初の計画は破綻しております。

●提案します

- ・在籍人数が減ると（資料1）壁面がきびしいです。（資料2）
- ・在籍人数が減ると（資料1）人手がきびしいです。（資料3、4、5）
- ・在籍人数が減ると（資料1）金銭がきびしいです。（資料6、7）

昨年よりお願いしている事務所の後継者候補がいらっしゃいません。

実務にあたる関東会員も減少しています。

存続は不可能と考えます。

上記から4月12日付文書にて以下2点の承認をお願いいたしました。

□第64回展において会員推挙、準会員推挙は行わない。

□第65回展にむけての広報活動は行わない。

以上、長々と申し上げました。私どもが解散を提案する理由でございます。

7月末から8月にかけてを予定している「書面による総会」への提案です。

1. 2023年第64回新象展をもって、新象作家協会を解散する。
2. 2024年第64回新象展本展のみを最終展として開催したのち、新象作家協会を解散する。
3. 有志が新事務所（責任者、庶務、収入、支出、広報企画）を立ち上げ、継続する。

拡大事務所会議でのご助言を受けて、3を選択される方には具体的お名前を入れていただきます。A、Bいずれかです。

A. ご自身のお名前。ご自身が立候補される場合です。

B. ご自身推薦の会員が承諾された場合、立候補されるその会員のお名前です。

私どもは1と2については現事務所の役割、仕事と考えます。

3には関与できません。しっかり引き継ぎをいたします。なお、3は関東でなければということはありません。都美術館とのやり取りは、ほとんどメールかFAX、郵送です。業者とのやりとりも同様です。

●連絡です

・都美術館2025年度利用申請は「希望する」で出しておきました。

・都美術館でお目にかかれた会員の皆様、気がついた点について返信をよろしくお願いいたします。

書面による総会までにお考えおきください。よろしくお願い申し上げます。

天候不順の折柄、ご自愛くださいませ。